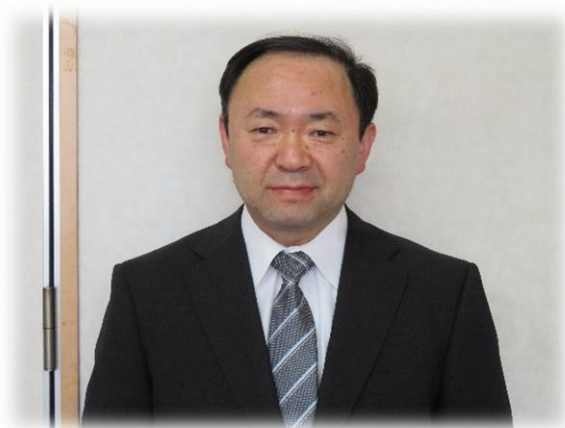


進路「夢」実現



進路だより 第1号
令和4年6月3日発行
大笹生支援学校キャリア支援部

校長あいさつ



校長 西牧 辰典

本校では、卒業後、自立し社会参加することができるよう、地域性や社会の変化、産業の増光や児童生徒の障がいなどの状態に応じた多様な職業教育の在り方を工夫し、学校教育全体を通じて小学部、中学部、高等部と一貫したキャリア教育を計画的に進めています。

しかし、新型コロナウイルスは、社会での働き方や生活様式に大きな影響を及ぼし、あらゆる事柄の変化は、児童生徒にとって戸惑いをもたらしました。それでもその変化の中でも学校は学習の保障をすべく、感染拡大防止対策を講じ進路実現に向けて取り組んできました。もちろん学校だけではなく企業や事業所、福祉関係機関及び御家庭の皆様の並々ならぬ努力が学校を、教育を支えていただいていることに改めて感謝申し上げます。

進路で大切なことはタイトルにあるように、まずは「夢」をもつことです。このことは、キャリア教育のスタート地点だと考えています。小学部において「見てみたい、やってみたい」からどんなことでも「夢」をもたせることができる、これが中学部、高等部の進路指導につながっていきます。「夢」を実現するためのたくさんの学習や体験は自己理解へと進みさらなる意欲や態度を培っていきます。それでも「夢」の実現は困難で、実現できないこともあります。実現できなくても「夢」に向かって努力したことに無駄はありません。知識や技術を高めた力は、必ず活かすことができます。発想を転換することでさらなるチャレンジを生み、新たな方向での進路実現が可能となります。コロナ禍の状況をいつまでも悲観するのではなく、変化を新たなチャンスと捉えチャレンジすることで「ひとつひとつ実現する学校」でありたいと考えています。

そのためには引き続き、保護者の皆様や関係機関の皆様、地域の皆様の御協力と御支援を、今後ともよろしく申し上げます。

高等部産業現場等における実習が始まります

高等部主事 二階堂俊介

新学期がスタートして2ヶ月が経過し、生徒たちもようやく学校生活に慣れてきたようです。6月に入り、高等部の大きな行事のひとつでもある「前期産業現場等における実習」(通称：現場実習)が始まります。1年生を中心とした校内での実習と、2、3年生を中心とした校外での実習となり、期間は6月6日(月)から6月17日(金)までの2週間となります。新型コロナウイルス感染症予防には、細心の注意を払い実施していきたいと考えております。

校内での実習は、各企業様より材料を御提供いただき実施する①箱折り班(菓子用箱を折る作業など)、②箸入れ班(割り箸を袋に入れる作業)と、③クリーン活動班(校舎内の清掃活動、体育館のワックスがけなど)、④リサイクル班(牛乳パックやシュレッダーごみを再利用してのリサイクル作業など)の4つの班に分かれての活動となります。また、2、3年生を中心としての校外での実習は、多くの企業様や福祉サービス事業所様の御協力のもと、実習を実施させていただく予定です。

産業現場等における実習を通して、働くことや社会生活を送るために必要なことを実際に学ぶとともに、自分の適性や課題を改めて確認し、卒業後の進路実現を図ることを目指しています。

保護者の皆様にはお子様の進路実現に向けた目標が達成できますよう励ましの言葉や実習に際しましての御協力をお願いいたします。

卒業生体験発表会に参加して

◎5月23日(月)に「卒業生体験発表会」を開催しました。今年度は中学部3年生と保護者の方もそれぞれの教室で、リモートで視聴しました。

高等部3年1組 W.N

5月23日にH.Nさん、H.Nさん、お二人の先輩にお越しいただき、卒業生体験発表会が行われました。お二人は一昨年の卒業生で社会人2年目です。私も来年には、社会に出て働く立場になるので、どのようなお話をお伺いできるのか楽しみにしていました。

先輩方のご勤務の様子を事前に撮影したビデオで紹介していただいた後に、インタビュー形式で様々な質問にお答えいただきました。その中で、仕事の内容が異なっているにもかかわらず、先輩方が仕事をしていく上で感じていることや、思っていたら違うことが同じであったことに驚きました。一つ目は「元気に笑顔であいさつすることの大切さ」です。職場の方とはいつも顔を合わせて一緒に仕事をしています。その方たちとしっかりとコミュニケーションをとれていなければよい仕事はできません。あいさつはその基本となる大切なものであることを教えていただきました。二つ目は「体力の大切さ」です。仕事を続けていくためには体力が必要になります。すぐに疲れてしまうようでは仕事になりませんし、毎日働き続けることもできません。お二人は、大笹生で体力をしっかりと付けていたことが良かったとお話し下さいました。私もトレーニングや部活動に励み、仕事を始めたときに困らないよう体力をつけておきたいと思います。その他、先輩方は、余暇の過ごし方や仕事を始めたばかりの頃に、なかなか職場になじめなかった時のことなど、プライベートな内容や辛かったことにも関わらず、私たちの質問に丁寧にお答え下さいました。ありがとうございました。

卒業後に、大笹生の卒業生として胸を張って生きていけるよう、今回の先輩方のお話を胸に、頑張っていきたいと思います。

中学部3年生保護者 S.S

子供が、本校の中学部の3年生という事もあり、ぜひ、この機会に卒業生の方々のお話を聞きたいと思い初めて「卒業生体験発表会」に参加しました。発表の前に、VTRで仕事をしている様子を視聴させていただきましたが、お二人ともとても仕事が丁寧で感心しました。高等部の現場実習の時から仕事をきちんと指示通り進めていたと先生方のお話でした。それが今の仕事に活かされているのだと思いました。

お二人とも一番大切な事は、明るく元気に笑顔で挨拶、あと体力と言っていました。コロナ禍でマスクをつける事が多い為、表情が分かりづらいので特に挨拶は大事な事だと思いました。

最初は、仕事に対して不安や心配が大きいようでしたが今は、責任感と自信を持って仕事に取り組んでいるのだと感じました。今回、卒業生のお二人の貴重なお話ありがとうございました。

進路希望調査の集計結果から

高等部 進路希望状況

(1学年 33名 2学年 33名 3学年 29名 全95名)

希望内容	1年(人)	2年(人)	3年(人)	合計希望数(人)	希望率(%)
進学	0	0	0	0	0
企業就職	10	7	8	25	26.3
福祉就労	6	17	18	41	43.1
どのような進路を選択するか考慮中	10	7	2	19	20.0
その他	0	0	1	1	1.1
未定・無回答	7	2	0	9	9.5

(令和4年5月13日現在)

4月、5月に、高等部2、3学年の生徒を対象に進路希望調査を実施しました。今年度も、生徒一人一人の進路実現のために、学校、家庭、関係機関と連携しながら進路指導を進めていきたいと思っています。

なお、小学部、中学部は第一回の進路希望調査を6月末に実施いたしますので、保護者の皆さま、ご協力よろしくお願ひいたします。

南校舎一階の掲示板に「進路掲示板」として、各事業所の情報等を随時、掲示しておりますので、進路を考える際などに参考にしてください。また、南校舎一階職員室には進路担当者がおりますので、ご質問などありましたら、どうぞお気軽にお立ち寄りいただければと思います。

キャリア支援部 進路指導主事 小柴 潤子

新規の事業所紹介

社会福祉法人しのぶ福祉会
生活介護

あづまライフささや
(生活介護事業所)

住所：福島市笹谷字東中條
10-10

昨年度9月に建物が完成
電話：024-573-2212
(開設準備委員会)

特定非営利活動法人
き
お喜らく

(就労継続支援B型)

住所：福島市飯坂町平野字
堂天前11

電話：024-563-4558

一般社団法人 一穂
ポーレポーレ

(就労継続支援A型)

住所：福島市さくら1丁目
8-5

電話：024-563-7605